

無断撮影

相手に撮影していることを悟られないように一方的に写真や動画を撮影する行為。人物だけでなく、同人誌の内容やサークルスペースそのものなどを無断で撮影される場合もある。画像がインターネット上に流出すると二度と消すことができず、被害が大きい。

サークルスペースやコスプレの無断撮影は最近では外国からの参加者が無差別に撮影していくようなケースも多いので、撮影されたくないコスプレイヤーやサークルは『無断撮影禁止・No photographs・禁止拍照・촬영금지』といった掲示を目立つように出して相手に注意を喚起するなどの自衛策を取るとよい。また、コスプレ私服を問わず、姿勢によって胸元や下着などが簡単に見えてしまわないかを事前にチェックしておこう。同性の参加者は偶発的にそういった場面に気づいたら、積極的に相手に教えてあげてほしい。『別に自分は撮られても気にしない』という考え方もあるかもしれないが、『コミケは盗撮しやすい』と、さらに不心得者が増えることにもなりかねないので放置するのは得策ではない。

万引

サークルの頒布物をさまざまな手口で対価を支払わずに持ち去る行為。会計時や休憩時などに目が行き届かなくなりやすい個人サークルが狙われやすく、会計の際に支払った金額以上の数の頒布物を気付かれないようにバッグに入れるといった手口が多い。

見本誌には大きく目立つように『見本』と記し、頒布用のものはサークル側が希望された数取って購入希望者に渡す。会計時も慌ててスピーディに行おうとするよりも、『《誌名》〇冊●●●円になります。□□□□円お預かりします。お釣り■●■●円です』と逐一はっきりと相手の顔を見ながら口に出してお金と品物の流れを確認することで相手に注意を払っていることを伝えることが基本だ。誰かが自スペースの前に足を止めたら、立ち去るまできちんと注意を払うことは、やましい意図のない多くの参加者からは好印象に繋がるので一石二鳥だ。

また、スケブを描いたりスマホでPRのツイートを行うなど、頒布物から注意を外す際には一旦卓上に布などを掛け、その上に見本誌だけを並べるといった予防策を講じよう。



置引

サークルスペース内に侵入したり、休憩時に寝落ちてい一般参加者の荷物や戦利品の入ったバッグなどを気付かれないうちに持ち去る行為。

貴重品は戦利品と同じバッグには入れず、ポシェットやミニバッグやリュックなどに入れて常に身につけておく、ベンチに座って休憩する際にはバッグは膝の上か脚の間に置き、ショルダーベルトや持ち手に手指をかけておくといった基本的な防護策を徹底するだけでも、かなりこの犯罪は防げる。

サークルの荷物は1つのダンボール箱にまとめ、自分が座っている椅子の下やなるべく近くの身の回りに置く、メンバーの全荷物のベルトや持ち手を自転車用のワイヤー錠でまとめて括っておき、複数のメンバーがスペースを出入りする場合も売上や釣銭などの現金は常にサークル代表者が所持管理するといったルールを定めておく、背後や左右のサークルと朝一番の挨拶からのコミュニケーションを保ち、スペース内のメンバー交代の際は互いに一声かけあい、もし不審者の侵入に気づいたら即周囲のサークルに確認しやすくする、といった態勢を作っておくことが望ましい。

●ヒヤリハットしたらどうすれば……？

コミケットの会場で様々なトラブルや危険な場面や行為、あるいは犯罪行為の現場に居合わせてしまったとしたら、アナタはどう行動すべきだろう？ 少なくとも『見てみないふり』だけは絶対に避けるべきだ。そう分かっているにしても、いざとなると適確に行動するのは難しいものだが、できるかぎり以下の2つのアクションを起こすことは心がけておいてほしい。

- ①なるべく早く各ホールの準備会インフォメーションに行き、見聞きしたことを伝える。可能ならその後メモなどに残しておく。
- ②既に事態の対処に当たっているスタッフや参加者が居る場合にも『なにかお手伝いできることはありますか？』と声をかけてみる。

